［7］韻文を鑑賞する　［演習］詩歌のこころに触れる

［1］　はるかなものに

①白いを破つて

生まれ出たのやうに

には

子どもの成育が

実に不思議に思はれる

美しいもの――

とも考へる

俺は林の中に＊をした

俺が老いるのは

子どもが育つことだ

それにはなんの　Ａ　もない

②風が来て

の花が揺れる

俺は旅で少女とつた

古いことだ　昔のはなしだ

少女は俺の妻になつた

その妻が

今　柱のそばに立つてゐる

子を抱いて　少し口もとで笑つて

風が吹く

どのあたりから？

旅の空を　はるかなものを

俺はもう忘れてしまつたのか

（注）＊居を卜した―住居を定めること。

問1　この詩の種類として適当なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。（2点×2）

ア　叙情詩　　イ　叙事詩

ウ　定型詩　　エ　自由詩　　オ　散文詩

（　　　　）（　　　　）

問2　――線部①は、どの詩句に掛かっていくか。次から一つ選び、記号で答えなさい。（3点）

ア　俺には　　　　イ　子どもの成育が

ウ　とも考える　　エ　美しいもの――　　オ　実に不思議に思はれる

（　　　　）

問3　この詩で用いられている修辞法を、次から二つ選び、記号で答えなさい。（2点×2）

ア　倒置法　　イ　擬人法

ウ　法　　エ　隠喩法　　オ　反語法

（　　　　）（　　　　）

問4　空欄Ａに入る語を、詩の中から一語抜き出し答えなさい。（4点）

［　　　　　　］

問5　――線部②の表現効果の説明として、最も適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（5点）

ア　優しい風のそよぎと、美しい芙蓉の花の揺らぎとが、空想の世界を思い立たせる。

イ　突然、風が吹いて花が散ってしまうのではないかと、不安な気持ちを抱かせる。

ウ　風が花を揺らすように、父親が子どもを抱いてあやすようなしぐさを連想させる。

エ　花や風に視線を移すことで、次の母子へ視線や心情の転換を円滑にさせている。

（　　　　）

問6　詩の中で、「俺」はどのような思いを抱いているのか。 次の文の空欄Ｂ・Ｃに入る語の組み合わせとして、最も適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（5点）

現在の家族と境遇に　Ｂ　と喜びを感じながらも、「俺」の心の中には若いころに旅したさまざまな思い出と、その時の旅の　Ｃ　がっている。

ア　Ｂ…楽しさ　Ｃ…苦労　　　イ　Ｂ…安らぎ　Ｃ…愁い

ウ　Ｂ…幸せ　　Ｃ…疲労　　　エ　Ｂ…満足　　Ｃ…不満

（　　　　）

［2］

Ａ　あしひきのののしだりの

ながながしをひとりかも

Ｂ　世の中にえて桜のなかりせば

春の心はのどけからまし

Ｃ　心なき身にもあれは知られけり

立つ沢の秋の夕暮れ

法師

Ｄ　その子にながるる黒髪の

おごりの春のうつくしきかな

Ｅ　名月を取つてくれろと泣く子かな

Ｆ　いくたびも雪の深さを尋ねけり

Ｇ　日当たりながら落ちにけり

Ｈ　ピストルがプールのきにひびき

問1　Ａの歌に用いられている表現技法として適当なものを、次から二つ選び、記号で答えなさい。　（2点×2）

ア　対句　　イ　　　ウ　擬人法　　エ　　　オ　体言止め

（　　　　）（　　　　）

問2　Ｂの歌について、現実には「春は桜の花が散っていくものだから」、人の「心」はどうだというのか。十字以内で説明しなさい。（3点）

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

問3　Ｃ・Ｄの歌の句切れを答えなさい。（2点×2）

Ｃ［　　　］　　Ｄ［　　　］

問4　Ｄの歌の「おごりの春」とは、どのようなことを表現しようとして使われた言葉か。次の空欄に二字の熟語を補いなさい。（4点）

ほこらしい ［　　　　］

問5　Ｅの句の作者は、「泣く子」に対して、どのような気持ちを抱いていると思われるか。最も適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。（3点）

ア　いたずらな子に手を焼いて、困っている。

イ　子の想像力は素晴らしいと思っている。

ウ　子の声も忘れるほど名月に感動している。

エ　幼いので子を一層いとおしく思っている。

（　　　　）

問6　Ｆの句の作者は、このときどのような状況にあったと考えられるか。次から一つ選び、記号で答えなさい。（3点）

ア　外国にいた。　　イ　病床にあった。

ウ　旅をしていた。　エ　仕事をしていた。

（　　　　）

問7　Ｇ・Ｈの句の鑑賞として、最も適当なものを、次からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。（2点×2）

ア　緊張した一瞬をとらえるとともに、句中の韻が巧みな効果をあげている。

イ　移りゆく視線の動きを詠むことで、広大な景色を鮮やかに連想させる。

ウ　動きを高速度カメラのように写し取りながら、一瞬の輝きを見事にとらえている。

エ　自然への不思議な感動を、季節感あふれる色彩で描いている。

オ　新鮮な題材を組み合わせることにより、率直な心情が詠まれている。

Ｇ［　　　］　　Ｈ［　　　］

【解答】

［1］

問1　ア・エ　　2点×2

問2　オ　　3点

問3　ア・ウ　　2点×2

問4　不思議　　4点

問5　エ　　5点

問6　イ　　5点

［2］

問1　イ・エ　　2点×2

問2　のんびりできない。（9字）　　3点

問3　Ｃ＝三句切れ　Ｄ＝初句切れ　　2点×2

問4　青春　　4点

問5　エ　　3点

問6　イ　　3点

問7　Ｇ＝ウ　　Ｈ＝ア　　2点×2